

吉野山を周遊し、 青不動に出あう



日本一の桜の名所と呼ばれる吉野山。下千本から中・上・奥千本まで続く桜は3万本以上あります。何故こんなに多くの桜があるかというと、役行者が修行によって金剛蔵王権現を祈った時、その姿をヤマザクラの木に刻み、お祀りしたことに始まるといわれています。

以来、信仰の証として信者たちによって献木として桜が植え続けられたそうです。もっともこの地は、桜の時期だけでなく、新緑や紅葉の頃も素晴らしいです。南朝哀史の舞台、修験道の根本道場という顔も持ち、季節を問わず快適なハイキングが楽しめます。今回は紅葉の美しい時期に吉野を訪ね、特別開帳の「青不動」を拝観して、みんなでコロナの早期収束を祈りましょう。

担当 2班

実施日 令和 2年11月 6日(金)

集合 近鉄吉野線 吉野駅改札口 10:10 集合

アクセス 大阪阿部野橋駅 8:20 発急行 吉野駅着 9:52 (トイレは改札を出て左にあります)

行程 吉野駅 → ケーブル(3分) → 山上駅 → 銅鳥居 → 金峯山寺(蔵王堂にて青不動拝観) 昼食  → 吉水神社(拝観) → 竹林院(通過、もしくは小休憩) → 五郎平茶屋(中千本) → 如意輪寺(見学) → 吉野駅 (15:00頃 約7km)

その他 ◎前日の夕方の天気予報で、奈良県吉野町の降水確率が50%以上の場合、活動を中止します。その場合、そら組全体メールで連絡します。

◎ケーブル代、青不動拝観料、吉水神社拝観料、合わせて1,835円はそら組から支出しますので、個人負担はありません。

◎各班の班長は10月15日までに、出欠表を2班 橋岡班長まで提出してください。



萬松堂(まんしょうどう)

蔵王堂下にある老舗店。草餅は絶品。添加物を一切使わず、蔵王堂にも奉納される。あんこが甘すぎず、さっぱりと食べられる。参道沿いに草餅や柿の葉寿司を売る店が並ぶ。



金峯山寺蔵王堂

吉野山修験道の総本山で、世界遺産の建物。木造建築としては奈良県で2番目に大きい。(1番は東大寺大仏殿)大迫力の秘仏本尊は一年に一か月ほど特別に御開帳される。高さ7mにも及び蔵王権現像は憤怒の形相で右手を高く振り上げています。ゆっくりご覧ください。



吉水神社

京の都を追われた後醍醐天皇はここを皇居として南朝を開いた。豊臣秀吉が花見の本陣を置いたことでも知られ、神社前には「一目千本」という桜を一望できる一角がある。後醍醐天皇の玉座、義経と静御前の居間、狩野永徳の金屏風、蟬丸法師の琵琶、一休さんの書……。色々あり過ぎて、消化不良を起こしそうです。